

リオ州の治安情報第50号

ポタフォゴ地区で強盗事件が連続発生

11月2日から3日にかけて、リオ市内の邦人が多く居住するポタフォゴ地区で強盗事件が連続発生しています。

1 連続車両強盗事件

リオ州軍警察によれば、11月2日（月）午前1時頃、拳銃を持った男4人組がポタフォゴ地区のRua Eduardo Guinle 通り（住宅街に位置）を封鎖し、車両計4台に対して、運転手を銃で脅すなどして金品を強取した。4人組はその後、一台目に止めた車両を奪って逃走した。

2 サント・イナシオ校前で強盗致傷事件

当地主要紙オ・グローボ電子版「G1」によれば、11月3日（火）午後12時40分頃、ポタフォゴ地区のRua Dona Mariana 通りに位置するサント・イナシオ校前において、同校の女生徒が学校を出たところを強盗に襲われ、ナイフで切られるなどして15針を縫う大けがを負った。同生徒は昼休みにランチを取るため学校を出るところだった。

【当館から】

連続車両強盗事件については、今回の事件のように、深夜、車通りの比較的少ない路地で敢行される場合が多くなっています。リオ市内各地でこのような事件が絶えず発生している状況をよく認識して、深夜時間帯の車両の運転は可能な限り避けるようにして下さい。

【強盗に遭遇したら】

万が一、強盗に遭ってしまった場合は以下の点に留意して下さい。

- 決して抵抗せず、相手の要求に素直に従う
- 慌てず騒がず、冷静に対応する
- 急な動作をしない。
- 相手の顔を直視しない（顔を覚えられたと受け止められる）